

2022 年 1 月

瑞穂町の図書館をみんなで考え・活用するワークショップ 実施レポート

第 3 回 開館後に瑞穂町図書館でやってみたいことを企てよう

実施概要

- 日時：2022 年 1 月 22 日（土）13:30～16:00
- 開催場所：瑞穂町ふれあいセンター
- 参加人数：23 名

実施スケジュール

第1部：オリエンテーション 13:30-13:55

- ・ はじめに：町田館長、関谷会長（5分）
- ・ これまでの振り返り：arg（5分）
- ・ 工事の進捗説明：スターパイロット（5分）
- ・ ワークショップの説明：arg（10分）

第2部：現地視察・グループワーク 13:55-15:25

- ・ 現地視察（30分）※2回に分けて実施
- ・ グループワーク「開館後に瑞穂町図書館でやってみたいことを企てよう」（50分）

<休憩（5分）>

第3部：共有 15:30-16:00

- ・ 全体発表：5分×4グループ（20分）
- ・ レビュー：arg（5分）
- ・ おわりに：町田館長（5分）
- ・ 写真撮影（5分）

現地視察の実施

設計事務所スターパイロッツの三浦氏による館内の説明を受けながら、現地の視察を行いました。参加者のみなさんは、開館後どのような活動をするか、どの場所で過ごすかイメージを膨らませながら館内を見学していました。各エリアにはどういった本が並び、どのような利用者がメインターゲットとなるか等、エリアごとの機能の説明も行い、その後のグループワークでの企画検討にもつなげていきました。



■グループワーク

開館後に瑞穂町図書館でやってみたいことを企てよう！



図書館で
(ひとり、誰かと、みんなと)
やってみたいことを
付箋に書きだそう

1つの案を選んで
みんなで企画書をつくろう

全体で発表し、
課題や気づきを共有しよう

■グループワーク

やってみたいことを企画書にまとめよう

瑞穂町図書館 企画書	
イベントタイトル:	
場所:	
プログラム:	
だれが？だれとだれが？	
どのように？	

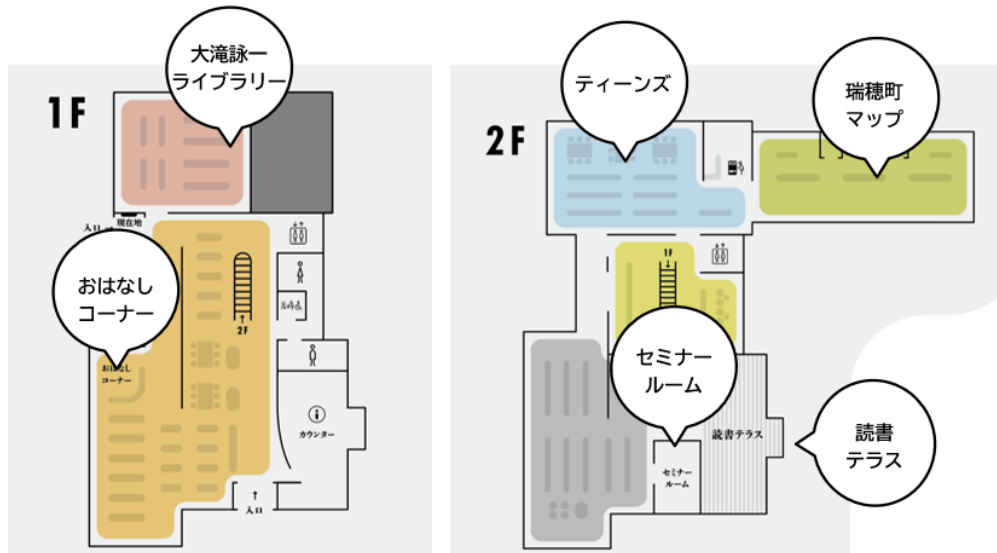
企画の内容を
考えよう

運営方法を考えよう

企画書を考えるときのポイント

1. 町民が主体的に関わることができる町民中心の企画を考える
2. 単発の企画でも、常設の企画でもよい
3. 開館後に実際に実施することを目標にする
4. 人、情報、場所、モノ、コトなど、何かと何かがつながっていくことを目的とする

開館日にやってみたい小さなイベントを考えてみよう！



各グループのまとめ

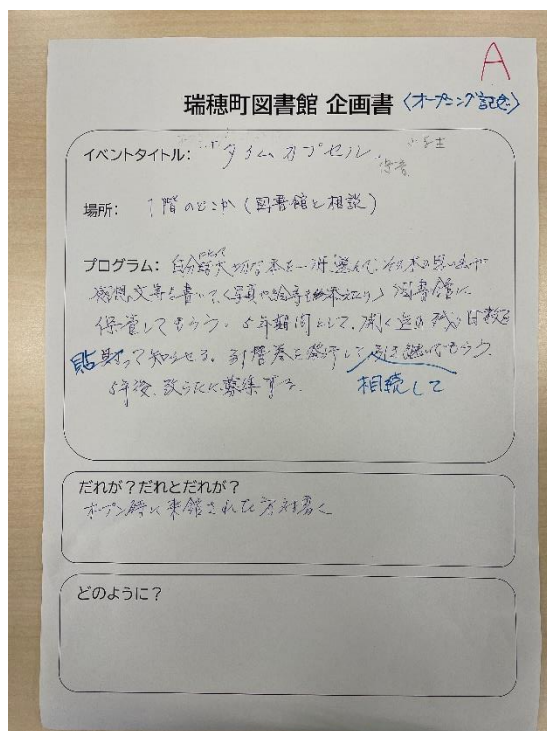
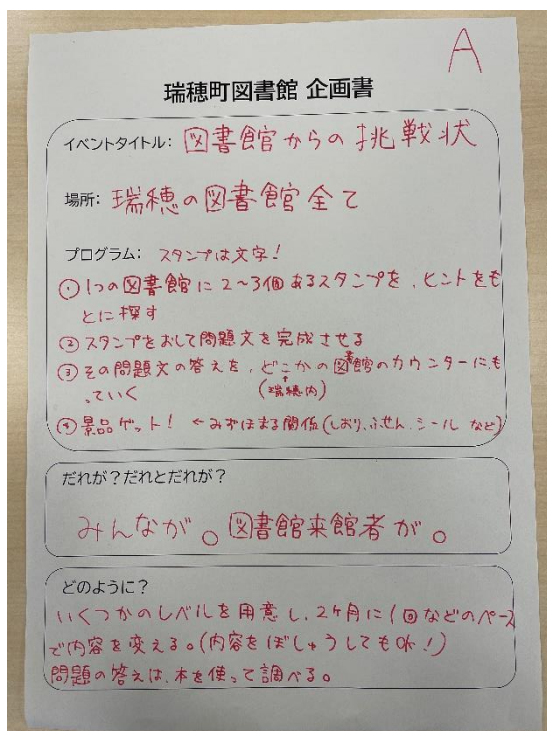
【Aグループ】

開館後企画：図書館からの挑戦状

ヒントをもとに館内に隠したスタンプを探して、全て揃えたら景品をもらえる謎解き×スタンプラリー。スタンプが隠された場所のヒントは図書館の本を使って調べます。

開館日企画：タイムカプセル

自分にとって大切な本を、写真や文章と共にタイムカプセルとして図書館に保管し、5年後に開封します。開封日の前にはカウントダウンを行い盛り上げます。また、タイムカプセルを家族や友人が相続するための引き換え券を発行して、引き継いでもらいます。



<ワークショップの風景>



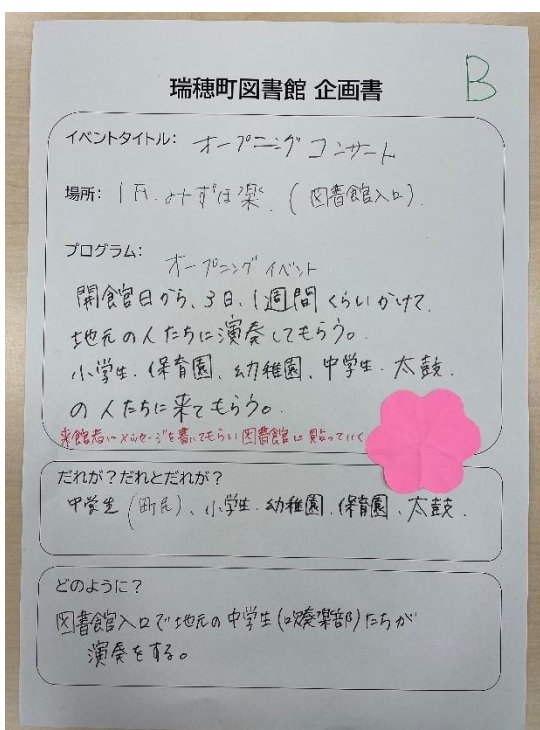
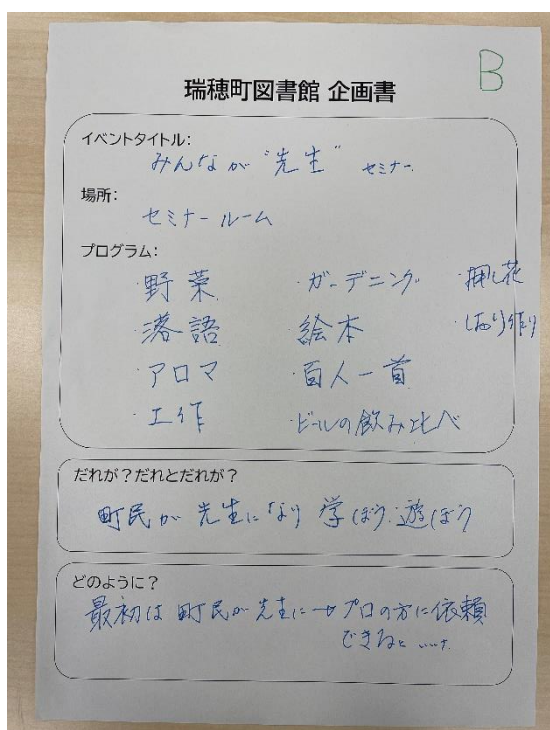
【B グループ】

開館後企画：みんなが“先生”セミナー

町民一人一人が、自分の得意なことで先生になって学んで遊ぶ。例えば江戸東京野菜や、ガーデニング、落語、アロマ、工作等、先生と生徒と一緒に学んでいきます。最初はハードルを低くしつつ、将来的にはプロの講師を呼ぶところまで発展していけるとよいです。

開館日企画：オープニングコンサート

地元の人たちによる演奏会。感染症対策のため、室内ではなく図書館の入口で演奏をしてもらいます。コロナの影響で多くのイベントが中止になり、子どもたちや演奏団体の方の発表機会が少なくなっているのです。開館を記念して演奏会ができるとうよいと思いました。



<ワークショップの風景>



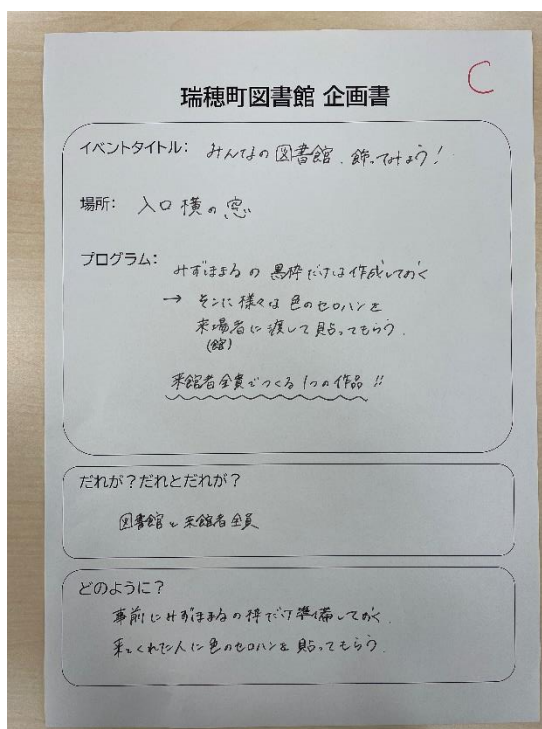
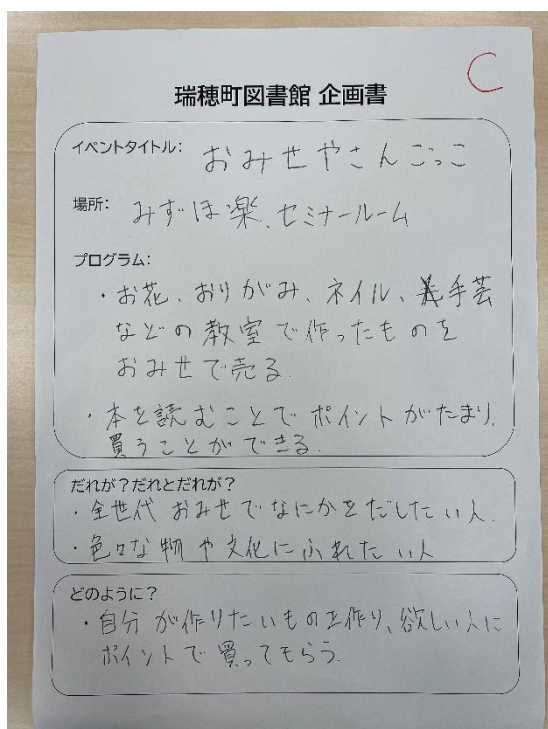
【Cグループ】

開館後企画：おみせやさんどっこ

お花や折り紙、ネイルなど、自分の興味があるものを学ぶだけでなく図書館で売ることができるようになります。本物のお金ではなく、図書館独自の通貨（ポイント）で商品を買うことができるようになります。

開館日企画：みんなの図書館、飾ってみよう！

黒枠でつくった「みずほまる」をガラス面に用意し、来場者が色んな色のセロハンを貼っていくことで1つの作品をつくっていきます。



<ワークショップの風景>



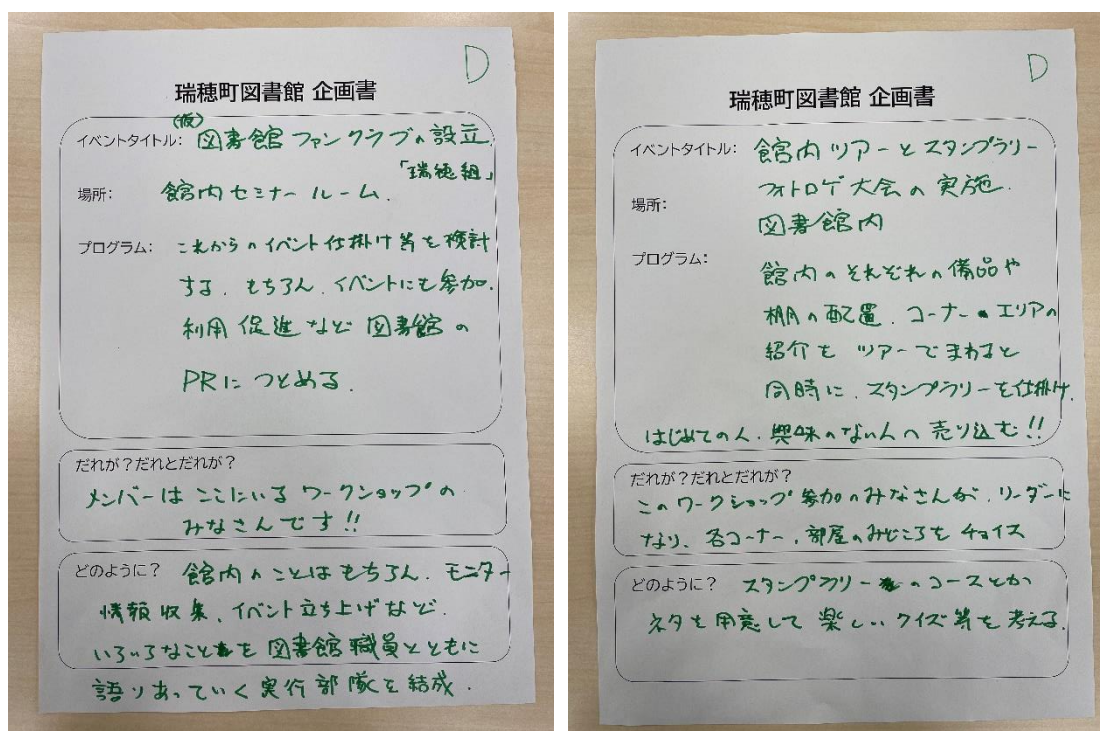
【D グループ】

開館後企画：図書館ファンクラブの設立

これからの図書館でのイベントや、図書館のPRを実行する“ファンクラブ”。図書館のことを、職員と一緒に語り合い実行していく有志団体を設立します。

開館日企画：館内ツアーとスタンプラリー

新しくなった図書館の各エリアの紹介をツアーで回っていくスタンプラリー。各スタンプコーナーでは説明をするスタッフやクイズなど楽しい仕掛けが用意されています。



<ワークショップの風景>



全体の考察

各自で「図書館でやってみたいこと」を書き出していったときに、従来の図書館の利用イメージにとらわれずに「みんなで歌う」「推しについて語り合う」「占い」「キャンプ」等、自由な発想でたくさんアイデアをあげていました。みんなで出したアイデアを2つの企画書にまとめていくなかで、それぞれのアイデアを組み合わせたり、図書館の資料を活用したり、瑞穂町ならではの案を加えたり、様々な視点から議論し、企画のディテールや将来的な発展まで考えられていました。こうした発想の広がりや、これまでワークショップで、ともに考え対話してきたことの積み重ねの成果だと思います。

また、開館日当日のイベントを考える際にはコロナウイルスへの配慮も考えながら企画の検討を進めていました。今後は、まずは小さな企画からでも、試行錯誤しながら1つ1つ実行していくことで、瑞穂町図書館が町民協働による活動の実践の場になっていくのではないかと思います。

以上